

パブリックコメント実施結果について

1 案件名

東海市都市計画マスタープラン素案

2 募集期間

令和 5 年 1 1 月 2 2 日（水）から 1 2 月 2 1 日（木）まで

3 募集方法

- (1) 市ホームページ
- (2) 市役所 1 階 情報コーナー及び都市計画課の窓口

4 提出件数

1 2 件（5 人）

5 意見及び市の考え方

別紙のとおり

6 その他

意見に対する市の最終的な対応については、東海市都市計画マスタープラン策定後の令和 6 年 3 月末に公表を予定

## 東海市都市計画マスタープラン素案へのパブリックコメントに関する意見の概要及び市の対応の方向性について（案）

意見該当箇所	意見の概要	意見に対する市の対応の方向性（案）
全体	<p>市内を移動しやすくするコミュニティバス、知多バスの位置づけが不明である。</p> <p>住みやすい都市を目指すのに環境問題の改善・解決にふれていない。</p>	<p>知多バスについては、将来都市構造で知多バス上野台線、横須賀線を公共交通基幹軸として位置づけ、各拠点間のネットワークの強化を図る方針を定めています。コミュニティバスについては、交通施設等の整備方針の中で、鉄道、路線バス（知多バス上野台線、横須賀線）にアクセスする公共交通として、利用者ニーズに応じた道路整備等の見直しやバス利用者の利便性の向上の方針を定めています。</p> <p>具体的な施策・事業については、別途、総合交通戦略や地域公共交通計画に基づいて実施していくことになります。</p> <p>都市計画マスタープランにおいては、自然環境や都市環境に関する部分の方針を定めていますが、環境問題に関する取り組みについては、環境基本計画に基づいて実施していくことになります。</p>
第2章 全体構想 都市整備の方針 P42～44	<p>交通施設等の整備は住み良く、活気あふれるまちづくりの大きな要素であり、鉄道、バス、自家用車、徒歩、自転車のいずれを利用してもしやすいまちづくりを目指してほしい。</p> <p>また、整備にあたっては市民の安全性にも十分配慮してもらいたい。</p>	<p>鉄道、バス、自家用車、徒歩、自転車などの既存の移動手段については、引き続き利便性や安全性の向上が図られるように努めます。</p> <p>また、これらの交通との連携を図り、安全性を配慮し、市全体の回遊性の向上が図られるような新技術の導入や新たな取り組みなどの検討を進めます。</p>
第2章 全体構想 都市整備の方針 P47～48	<p>緑あふれるまちづくりは人々の心を豊かにしてくれるものであるため、特に老朽化した既存公園のリニューアルに期待しています。なお、現在の市の公園等の施設にはゴミ箱の設置がないため、市民の豊かな心を育む面からもゴミ箱を設置してほしい。</p>	<p>老朽化した既存の公園については、計画を立てながら市民の意見も取り入れてリニューアルを進めていきます。</p> <p>ゴミ箱の設置は、ゴミ拾いの促進につながる一方で、ゴミの散乱、不法投棄も懸念されます。それらの課題も踏まえ、市としてはゴミ箱を設置しない方針としています。</p>
第2章 全体構想 都市整備の方針 P50	<p>富木島町伏見地区は過去に何度か浸水被害を受けており、大きな地震が起きた際の津波の被害も心配であるため、防災・減災の観点からも河川の整備に力を入れたまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>富木島町伏見地区には過去の浸水被害の状況を受けて、浸水対策として姫島公園の地下には雨水貯留施設を整備しました。河川の整備については、今後も県と連携しながら浸水対策を推進していきます。</p>
第3章 地域別構想 北部地域 P65 10行目 P68 27行目	<p>らんらんバスが緑陽小学校と名和駅周辺までしか利用ができないため、名和駅の活性化のためにも通勤や通学にらんらんバスが利用できるように、名和駅北部や名和駅西部や緑陽小学校東部まで延伸してほしい。</p>	<p>らんらんバスについては、令和6年10月からの新ダイヤ・ルート運行を目指して、現在、交通事業者等で構成される地域公共交通会議の中で検討を進めています。</p> <p>また、らんらんバスが通行することのできない地域に対しては、デマンド交通などの新たな交通手段の検討を進め、目的地までの移動手段の選択肢が広がるように努めます。</p>
第3章 地域別構想 北部地域 P68 10行目、18行目 P71 8行目	<p>緑陽小学校と名和中学校への通学路や緑陽公園へのアクセス道路は交通量が多く、事故につながる危険箇所があるため、児童生徒が安心して通学できるように、通行速度抑制対策や信号を追加するなど、改善をしてほしい。</p>	<p>通学路については、児童生徒が安心安全に通学できるように、各小中学校における「通学路交通安全プログラム」により、危険箇所における安全対策を順次進めています。</p> <p>また、歩道の設置や既存道路の改修なども順次進め、安心安全な歩行空間の確保に努めます。</p>
第3章 地域別構想 北部地域 P68 23行目	<p>中嶺池及び北玄蓄池は農業用水利として使用しておらず、異臭やウシガエルの騒音があり、有効に土地を活用するため、埋め立てをしてほしい。</p>	<p>中嶺池及び北玄蓄池は、浸水被害の軽減を図るため、雨水を一時的に貯めておく、防災上必要なため池と考えております。なお、中嶺池及び北玄蓄池は市の所有物ではないことから市が埋め立てをして土地利用をしていくことは考えておりません。</p>
第3章 地域別構想 中央地域 P91 12行目	<p>「瀬戸大府東海線の4車線化」について、大府市への移動が更にスムーズになることで居住地選定において東海市を選択する人が増え、人口増が期待できると思うため、早期遂行をお願いしたい。</p>	<p>（都）瀬戸大府東海線は、本市の東西方向の重要な道路と認識しており、本路線については、4車線化の早期実現に向けて、愛知県と連携して進めます。</p>
第3章 地域別構想 中央地域 P91 13行目	<p>「エコプロムナード（花・水・緑の基幹軸）の整備」について、自動車の抜け道になっている箇所があり、歩行者・自転車に配慮した整備を進めてほしい。</p>	<p>エコプロムナードは、歩行者・自転車のネットワークの形成を図るとともに、花と緑豊かで市民の健康づくりに寄与するために車道と分離した歩行者・自転車道を河川堤防沿いに整備を進めています。整備にあたっては、車道と歩行者・自転車の交差する箇所の安全対策も配慮しながら進めます。</p>
第3章 地域別構想 南部地域 P101 24行目	<p>「加木屋南公園リニューアル」について、加木屋南公園内の加木屋大池は、特定外来生物が繁殖しており、リニューアルの際、特定外来生物を駆除するなどして、加木屋緑地と同様、生態系保全の場として管理することを検討してほしい。</p>	<p>加木屋南公園は、現在も自然とふれあえる公園として認識しており、リニューアルの際にもこの機能は維持・向上できるように検討する予定です。なお、加木屋大池は市の所有ではないことから、特定外来生物の駆除などの生態系保全の取り組みや管理に関しては、所有者との調整を図る必要があると考えています。</p>
第3章 地域別構想 臨海部地域 P106 15行目 P108 4～11行目	<p>「名和駅西の整備」について、遠方からの来社時に工場地帯までの移動が困難なため、西側にロータリーを設置し、タクシーや社用バス等が停車できるよう、利便性を向上して欲しい。また、らんらんバスの停留所を工場地帯に設け、電車通勤ができるように、渋滞緩和を促して欲しい。</p>	<p>名和駅西側の整備については、現在、東海名和駅西土地区画整理事業により推進しています。</p> <p>らんらんバスの停留所については、臨海部の工業地帯に設置することは考えておりませんが、輸送距離に応じたモビリティ対策については、交通事業者等で構成される地域公共交通会議の中で別途、検討していく必要があります。</p>